

## インフォシス、ヨーロッパにおける Live Enterprise の 成功を Oracle Cloud で促進

2月12日～13日に開催される Oracle OpenWorld Europe: London において、組織のライブ・エンタープライズへの移行を実現する業界全般にわたる専門知識および Oracle ベースのクラウド・ソリューションを発表

ロンドン (英国) 2020年2月11日: 次世代のデジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は本日、Oracle OpenWorld Europe への参加を発表しました。当社は、Oracle Cloud テクノロジーを活用してヨーロッパの企業が『ライブ・エンタープライズ』に移行できるよう支援し、直観的な意思決定の促進、プロセスの自動化、新たなユーザー体験の構築、企業の再編成により成長を加速しています。

ノッティンガム大学は、当社と提携し Oracle テクノロジーを活用して働き方を転換した組織の1つです。英国を拠点とするこの機関は、生産性を向上させ、成長を促進するため、教育および学生管理システムの全面的な見直しを望んでいました。これまでの複雑な IT インフラストラクチャーに対応するため、大学は、弊社と提携し Oracle PeopleSoft キャンパス・ソリューションを展開しました。詳しくは、こちらの [事例](#) をご覧ください。新しい統合システムは、従業員および学生に劇的な生産性とユーザー体験の向上をもたらすと期待されています。

また、デジタル・セキュリティのリーダーであるジェムアルト (タレス・グループ) は、インフォシスとオラクルの連携を活用して一元化されたマスター・データの堅固な管理の設定とデータ整合性の改善により運用を強化しました。

ジェムアルト (タレス・グループ) グローバル ERP プログラム・ディレクター レミ・メドゥピエル氏は次のように述べています。「当社は ERP プラットフォームを単一の共有グローバル・プラットフォームに統合する野心的なデジタル変革プロジェクトに着手しました。当社のパートナーであるインフォシスは、主要プロセスの合理化と最適化、ワークロードの自動化を支援し、最終的にチーム全体のデータの整合性と管理を大幅に向上させました。」

一方、ベルギーの大手郵便事業者である Bpost は、当社と協力し、以前の Oracle ERP ソリューションを Oracle Cloud ソリューションを使用した新しいシステムに置き換え、業務プロセスの合理化と将来のサポート/維持費用の削減が可能となりました。

Bpost CIO コーポレート・サービス オリバー・ヘルナンデス氏は、「インフォシスは、当社のデジタル・プロセスを変革するための作業の構築における重要なパートナーです。当社のプロセスの多くは手作業でしたが、新しい Oracle デジタル・プラットフォームを使用することにより当社のソーシング、調達から支払いまで、**記録から報告**までのプロセスを自動化し、実用的な洞察を得ることができました。インフォシスとの協力で、Oracle Cloud ソリューションの活用によりこれらを最適化および統合し、当社の業務を大いに合理化しました。」と述べています。

インフォシス エンタープライズ・アプリケーション・サービス 副社長 ディネッシュ・ラオ は次のように述べています。「Oracle ベースのソリューションを活用してライブ・エンタープライズへの移行に着手したヨーロッパのお客様が成長し続けているのを目の当たりにし嬉しく思います。ヨーロッパは非常に成長している地域で当社として重点を置いており、引き続きこの地域でのローカライズ・サービスの提供に投資してまいります。オラクルとの提携により、当社は、効率の向上、生産性の最大化、ユーザー/顧客体験の向上を実現する次世代テクノロジーと機敏な業務プロセスをお客様に提供する独自の地位を築いており、お客様のライブ・エンタープライズへの移行を加速しています。」

当社は、Oracle PartnerNetwork (OPN) の Platinum Cloud Elite レベルのメンバーで、オラクルとの提携は、ERP、IaaS、PaaS、SaaS、SCM、HCM、CX、Autonomous Database および Oracle Cloud など多岐にわたるテクノロジーに跨っています。

### Oracle PartnerNetwork について

Oracle PartnerNetwork (OPN) は、パートナー企業に対してオラクル・ソリューションの開発、販売、導入に関する優先的な支援を提供するオラクルのパートナー・プログラムです。OPN ではオラクルの製品やソリューションに関し、専門領域におけるトレーニングや専門知識をサポートするためのリソースを提供するほか、拡大するオラクルの製品ポートフォリオやパートナー、ビジネス機会の評価まで、支援を拡大させています。最新の OPN プログラムはパートナーの認定制度や「Oracle Cloud」への投資に対する報奨制度を中核に据えられており、パートナー企業はオラクルとの取り組みを強化することによって、「Oracle Cloud」に関する専門的なノウハウを得て差別化を図ると同時に、「OPN Cloud Program」を通じて顧客に成功をもたらすことができます。「OPN Cloud Program」は既存の OPN プログラムを補完し、「Oracle Cloud」の推進に取り組むパートナーの認定とそれぞれの段階に応じた特典が用意された革新的なプログラムとなっています。詳細については、<http://www.oracle.com/partners> をご覧ください。

**商標:** Oracle および Java は、オラクルおよびその関連会社の登録商標です。

### 当社について

インフォシスは、次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーです。当社は 46 カ国の顧客のデジタル変革を実現しています。過去 30 年間グローバル企業のシステムや業務を管理してきた経験に基づき、お客様のデジタル変革を専門的に誘導します。AI による変更実行の優先順位化、アジャイル・デジタルによるビジネス強化、優れたサービス提供により、お客様に高い評価をいただいています。当社は常に学習し、イノベーション・エコシステムのデジタル・スキル、専門知識、アイデアを活用して継続的な改善を実現しています。

詳しくは、[www.infosys.com](http://www.infosys.com) to をご覧になり、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように企業のデジタル改革を支援しているかご確認ください。

### セーフハーバー条項

本リリースに記載されている当社の将来的な成長の予測に関する記述の一部は、1995年私募証券訴訟改革法の『セーフハーバー条項』に該当する将来の見通しに関する情報が含まれており、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。これらの記述に関連するリスクや不確定要素には、収益の変動、為替レートの変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技術をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界や係争中の訴訟や政府の調査の結果に影響を与える経済情勢などが含まれます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2018年度会計年度（2019年3月31日付）年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、追加で書面および口頭により将来の展望を随時発表する場合がありますが、法令で定められている場合を除き当社または代理人により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

### お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 日本オフィス

マーケティング本部長 安藤 03-5545-3257 Email [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)